

仕様書

1 購入品目・品質規格及び数量

UPLC ハイブリッド質量分析システム 1 式

内 訳

①液体クロマトグラフィーシステム	1 式
②質量分析計	1 式
③コントロール P C	1 式
④解析用 P C	1 式
⑤窒素ガス発生装置	1 式

仕 様

(1) 液体クロマトグラフィーシステム

- ①接続溶媒数は 4 液以上接続可能で、同時に 4 液混合のグラジェントが可能であること。
- ②送液部、流量精度 (安定性) が 0.075% RSD または 0.02 分 SD 以下であること。
- ③混合精度が 0.15% RSD または ± 0.04 分 SD (どちらか大きい値) 以下であること。
- ④システム耐圧は、移動相 pH2~11 で 1mL/min で使用した場合 1,000kgf/cm² (14,000psi) 以上あること。

(2) 質量分析計

- ①Z-Spray を有していること。
- ②データ取り込み 30 スキャン/秒以上であり、CID が可能な四重極-飛行時間型質量分析計の装置構成を満たすこと。
- ③ウシインスリン [M+H]⁶⁺ の分解能は 50000FWHM 以上であること。
- ④Raffinose を 10 回測定したときの [M+Na]⁺ の質量精度は 1 ppmRMS 以下であること。
- ⑤イオンモビリティ分離機能を有していること。
- ⑥四重極の後にイオンモビリティ分離機能を有していること。
- ⑦ダイナミックレンジは 4 桁を有すること。
- ⑧TRANSFER T-WAVE を有していること。
- ⑨該当装置専用の自社製 MALDI イオン化源オプションを有すること。
- ⑩MALDI イメージングソフトを有すること。

(3) コントロール P C

- ① (1) と (2) をソフトウェアで制御可能であること。
- ②A 4 モノクロレーザープリンターを 2 台有すること。

(4) 解析用 P C

- ① (1) と (2) のデータをソフトウェアで解析可能であること。

(5) 窒素ガス発生装置

①三相一体化窒素ガス発生装置であること。

3 納品場所

富山県立大学新棟8階製剤分析室

4 納入期限

令和2年3月31日(火) 17:00

5 その他

- ・本システムに係る修理、保守点検等アフターサービスを実施できる体制があること。
- ・搬入、設置、調整、取扱説明などの費用を全て含むものとする。
- ・本仕様書に明記していない事項であっても、本システムを実現するために当然備えるべき性能については完備しているものとし、システムを正常に機能しなければならない。
- ・納入前に必ず県立大学担当者と打ち合わせをすること。また、この仕様書の内容に不明な点がある場合は、県立大学担当者の指示に従うものとする。
- ・検査の実施により、物品がこの仕様に示す内容にすべて適合していると認めるとき、納入が完了したものとする。